機能ＩＤ	項番	枝番	機能名称	機能要件	実装区分	適合基準日
0150125	2.4.3.	2		本税に督促手数料を含めた／含めない分割納付作成ができること。	標準オプション機能	
0150126	2.4.4.			分割納付対象期別を選択できること。 金額について任意に設定できること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150127	2.4.5.			任意の指定期限を一括で設定できること。 また、設定した指定期限を個別に変更可能なこと。 祝日を任意に設定できること。デフォルトで、国民の祝日が設定されていること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150128	2.4.6.			同一世帯での分割納付、関連者間分割納付が設定できること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150129	2.4.7.			納期未到来期別も分割納付に含められること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150130	2.4.8.	1	分割納付計画シミュレーション	分割納付の計画策定における延滞金計算について、シミュレーションができること。 猶予時においても使用できること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150131	2.4.8.	2		シミュレーション結果は、分割納付策定前でも計画書で出力できること。	標準オプション機能	
0150132	2.4.9.		分割納付誓約情報管理	分割納付誓約（納付誓約、債務承認）情報を管理（設定・保持・修正）できること。 分割納付計画上、時効が到来する期別が含まれた場合にアラートが表示されること。 ＜分割納付誓約情報＞ ・誓約日 ・誓約履歴 ・本日納付分 ・登録履歴 ・取消	実装必須機能	令和８年４月１日
0150133	2.4.10.			納付計画内容と滞納額に差異が生じ、納付計画を変更すべき場合は、対象者を抽出できること。	標準オプション機能	
0150134	2.4.11.			分割納付誓約書の文面は修正が可能であること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150135	2.4.12.	1	分割納付誓約による時効更新処理	納付誓約に伴う時効の処理を行えること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150136	2.4.12.	2		分割納付期別、分割納付誓約期別への納付時、当該年度の期別全ての時効を更新できること。	標準オプション機能	
0150137	2.4.13.			誓約日を必要に応じて変更し（または承認日を設定し）、当該変更日（または承認日）の翌日を時効の起算日とすることができること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150138	2.4.14.	1		分割納付約束については、時効に影響のない分割納付処理を行うことができること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150139	2.4.14.	2		分割納付計画が完了した分割納付情報は、自動で取消できること。	標準オプション機能	
0150140	2.4.15.		分割納付履行状況管理	分割納付計画に対する履行状況（履行中、不履行、分割納付完了）を管理（設定・保持・修正）できること。 納付計画額と実際の納付額を比較し、履行状況を把握できること。 また、履行状況は自動で反映・更新されること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150141	2.4.16.	1	分割納付不履行管理	分割納付者について、履行状況毎に抽出できること。 また、不履行回数ごとに抽出できること。抽出した分割納付情報について、取消状態のフラグ付けを一括で行えること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150142	2.4.16.	1		速報データを含めた収納額が、納付約束額以上の納付でない場合、不履行と判定できること。 分割納付計画から発行した納付書以外の納付手段で納付した場合に、履行／不履行いずれにするか、地方団体が選択できること。 分割納付の順序が異なる場合、不履行扱いになること。 不履行判定日を管理できること。不履行判定日は、指定期限から●日経過などの条件を任意に定めることができること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150143	2.4.16.	2		不履行と判定するまでの猶予日数について、任意に設定できる機能を有すること。	標準オプション機能	
0150144	2.4.16.	2		分割納付者について、分割納付種類（納付書、口座振替）毎に抽出できること。	標準オプション機能	
0150145	2.4.17.	1		分割納付不履行者リストを出力できること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150146	2.4.17.	1		納付回ごとの履行有無が参照可能であること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0150147	2.4.17.	1		分割納付計画が完了しないまま終了／完了後にも滞納額が残存する対象者を抽出できること。	実装必須機能	令和８年４月１日